二〇一九年度

あさはらだより

浅原の一年間の記録

新コミュニティ『浅原の未来を創る会』設立！！

2019.3.21

寒さの中にも春の気配を感じるようになった3月21日、浅原では二つの総会が開かれました。

【活気ある浅原を創る会解散総会】

「活気ある浅原を創る会」は平成15年に立ち上がりました。

きっかけは、廿日市市と佐伯町の合併。その当時、浅原では小学生も徐々に減り、少し活気がなくなっていました。そこで、有志八名が「浅原を元気にしよう」という思いで集い、立ち上げにいたりました。

そして、「浅原ビジョン」を掲げ、夏祭りや敬老会といった地域行事の運営だけでなく、金剛寺小学校との交流事業や全国河川遡行クラブとの交流など、浅原以外の地域の方とも積極的に交流するなど、活気を取り戻すために様々な事業を行ってきました。

また、平成27年からは、浅原小学校の跡地活用についての協議も重ね、『交流拠点施設』の運営を行い、施設を活用して交流人口を増やす事業を始めていくことを決定しました。そして、新たな事をより伸びやかに進めていくために、発展的な解散を行うことに決定し、承認されました。

【浅原の未来を創る会設立総会】

「活気ある浅原を創る会」の解散に伴い、新コミュニティ「**浅原の未来を創る会**」が設立しました。

「**浅原の未来を創る会**」では、浅原以外に住んでおられる方も会の目的に賛同する方は理事や会員になることができるようになったため、新しい風も入り、今まで以上に広く活動していけるのではないかと思います。

地域の皆さま、コミュニティの皆さま、全員で力を合わせて、浅原をより住みやすく、他地域から見て魅力を感じられる場所にしていけたらと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

浅原交流拠点施設 オープニングイベント開催

2019.4.14

4月14日、『浅原交流拠点施設』のオープニングイベントが開催されました！

前日から、浅原のコミュニティ『浅原の未来を創る会』の皆さんが、地域の方々や行政の方にご協力いただいて、準備を進めていきました。

餅まきのお餅の袋の中には、割引券などお楽しみのものを入れるなど、イベントに来てくださった方々に楽しんでいただける工夫を凝らしていました。

そして、当日は、１５０名以上の方にご参加いただきました！

浅原にお住いの地域のみなさまはもちろん、サイクリストの方など地域外からも多くの方が参加してくださいました。

浅原交流会館は地域の皆様だけでなく、地域外から主にサイクリストの方にも来ていただけたらという想いもこめて建てられたので、イベント開始時に、浅原小学校で昔使われていた鐘を鳴らし、サイクリストが出走するという催しもありました。

サイクリストを始め、色々な地域から愛され、浅原の地域の人と地域外の人が集って、新たな繋がりも生まれるような場所になるだろう、という希望を持てたイベントとなりました。

浅野氏広島城入城400年記念 わらび座ミュージカル『茶の夢～宗箇さぁと私～』制作発表記者発表会

2019.5.14

5月14日、リーガロイヤルホテル広島にて、浅野氏広島城入城四百年記念わらび座ミュージカル『茶の夢～宗箇さぁと私～』の制作発表記者発表会が開催されました。

わらび座とは

わらび座は民族伝統をベースに多彩な表現で現代の心を描く劇団。1951年2月 創立。
民謡の宝庫と呼ばれる秋田県仙北市にホームベースを置き、現在5つの公演グループで年間約1000回の公演を全国で行っている。

わらび座の山川社長

特別協力の上田宗箇流家元上田宗冏さんによるご挨拶

～あらすじ～

神楽に青春を燃やしている女子高生・詩織がやってきたのは、武将茶人・上田宗箇が隠棲していた廿日市市浅原。
上田宗箇にまつわる伝説を聞きながらお茶を飲んでいると一陣の風が吹き、詩織は森の中に吸い込まれてしまう。
詩織が目覚めると、そこは江戸時代の浅原の森。
途方に暮れる詩織の前に現れたのは、江戸時代の少年・小太郎と上田宗箇。３人は神楽を通じて交流を深めながら、詩織が現代に戻る方法を探し続ける。
そんな中、上田宗箇は、広島藩浅野家の初代藩主浅野長晟公から縮景園（浅野家泉邸）作庭の命を受ける。その後、詩織から広島藩の未来の話を聞いた上田宗箇は…。

主演：青山恵梨子さん

広島県広島市出身。
CMやミュージカルで活躍中。
「この作品を通して、激動の時代を生き抜いた広島の人々の姿を、今の若い世代の人たちに知ってもらいたいと思います。先人たちの思いを知ることで、今を見つめることができる。そこから自分なりの道を進めるように…そんな勇気を感じてもらえるように演じたいと思います」（ettoco広島より抜粋）という思いを胸に頑張っておられます！

はつかいち縦断 みやじま国際パワートライアスロン大会2019 浅原にて初のエイドステーション

2019.6.16

6月16日、『みやじま国際パワートライアスロン大会』が開催されました。浅原では、今年から初めてエイドステーションを担当することとなり、始めは選手の方に上手く飲み物やスポンジを渡せないといったミスもありましたが、回数を重ねるごとにどんどん上達していきました。

終了後には「来年はもっと距離を長くとって…」と早くも改善点も話し合われていました。

今年も多くの方々にお手伝いしていただきました。毎年、お疲れ様です。ありがとうございました。

来年の4月24日から26日の3日間、アジアトライアスロン選手権が廿日市市で開催されます！浅原はコースではありませんが、こちらも応援よろしくお願い致します。

なつまつり

2019.8.3

8月3日に、2年ぶりの夏祭りが開催されました。今年は、修道大学の卒業生の方や学生さん、市の3年目研修の方々など、浅原地域外の方にもお手伝いしていただき、例年よりさらに盛大なお祭りとなりました。特に射的とくじ引きの景品がとても豪華で、子どもたちが行列を作るほどでした。そして、伝統の盆踊り、花火もみなさん楽しんでおられるようでした。

実行委員のみなさま、暑い中準備や片付け本当にお疲れ様でした。

実行委員長の挨拶からお祭りスタート！この時からすでに和やかな雰囲気でした

暑い中、美味しい物でお祭りを盛り上げてくださり、ありがとうございました！

八月から浅原に来られる藤井さん！けん玉パフォーマンスすごかったです～

祭りのメイン盆踊り！

花火も綺麗でした！

浅野氏広島城入城400年記念
わらび座ミュージカル
『茶の夢～宗箇さぁと私～』
さくらぴあ特別公演

2019.8.28

わらび座ミュージカル「茶の夢～宗箇さぁと私～」の特別公演がさくらぴあにて開催されました。

当日は、廿日市市の小学校や、浅原や大野など上田宗箇と縁のある地域が招待されました。このミュージカルは、神楽に情熱を燃やす女子高生が上田宗箇が隠棲していた時代の浅原にタイムスリップし、宗箇や浅原の村人たちとの交流を通して成長していくというストーリー。物語への感動と熱のこもった演技に圧倒され、涙ぐむようなシーンもありました。それに、浅原が主な舞台なため、劇中では「浅原」という言葉が多く使われたり、上田宗箇と村人との繋がりを丁寧に描いてあったことを嬉しく感じました。

上演後には、『浅原の未来を創る会』と浅原市民センターの皆さんが作成した、上田宗箇と浅原の繋がりを示す展示を多くの人がご覧になっていました。またパンフレットと一緒に配布した『宗箇さぁと浅原』というチラシも皆さま目を通してくれた様子で、「浅原」に関心を持ってもらう一つのきっかけとなったようです。

これをきっかけに浅原を訪れる人が増えると嬉しいです！

展示「浅原の宗箇さぁ」

ミュージカルのキャストの皆様と記念撮影！

上田宗箇と浅原の繋がり

茶人であり、浅野藩の客分の家老でもあった上田宗箇は廿日市市浅原に、三年間隠棲していました。

浅原の地での宗箇は武人としてではなく、自然を愛で、茶の湯三昧の茶人として暮らし、村人からも「そうかさあ」と慕われ、精神的にも満ち足りた浅原生活を送ったと伝えられています。

宗箇が浅原を去った後に、宗箇の徳をしのぶために毎年追慕祭（宗箇まつり）が開かれています。太平洋戦争の前後約四〇年間は途絶えていましたが、復活し、今も大切に受け継がれています。

今年四月にオープンした浅原交流会館にある「カフェあさはら」では、宗箇が浅原の村人たちとの酒の席で食べたとされる角寿司がメインの「そうかさあ定食」があります。

また、宗箇ゆかりの「岩船の水」や、四百年以上もの歴史をもつ「亀山神社」など数々の史跡が、現在も浅原には残っています。

どの史跡も浅原交流会館から歩いて行ける場所にありますので、ぜひゆっくり散策してみてください。

【浅原交流会館】
開館曜日：毎週水曜日～月曜日
※12/29～1/3は閉館
※カフェあさはらは月曜日休業
開館時間：9時～17時
※カフェあさはらは11時～15時

お問い合わせ先
浅原交流会館（廿日市市浅原2662-3）
TEL：0829-78-2650

配布したチラシ「宗箇さぁと浅原」絵は浅原在住の漫画家金子さんにお願いしました。

敬老会

9月長月
10月神無月

9月15日に、浅原市民センターにて敬老会が開催されました。今年は83名の方にご参加いただきました。

皆さま、敬老の日おめでとうございました。

今回の敬老会では、保育園児による歌や踊りの発表、小学生による作文の発表、神楽などの発表に加え、今年8月から浅原に引っ越してこられた藤井さんによるけん玉パフォーマンスも行われました。初めて見るパフォーマンスにみなさん大盛り上がり。最後には、山根さんを壇上にお呼びし、山根さんが投げた球を皿でキャッチするという技の披露もありました。難易度の高い技でしたが、見事2回目で成功！拍手喝采でした。

そんな新しい演出もあった敬老会。

来年もぜひ楽しみになさってくださいね！

それまで、身体に気を付けて、笑顔で一年をお過ごしください。

また来年の敬老会でお会いしましょう！

乾杯！

小学生、保育園児による発表

山村さんによる美声のご披露

藤井さんによるけん玉パフォーマンス

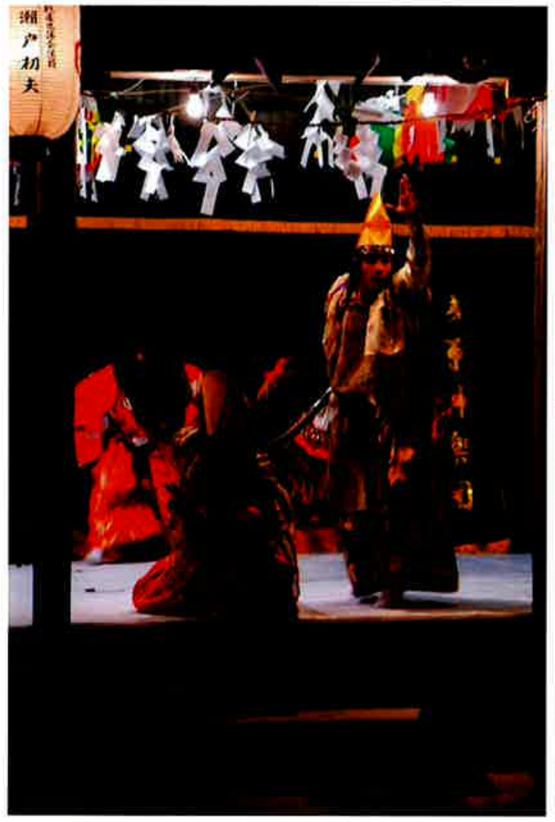
神楽

浅尾さんの写真展もお茶席や

亀山神社秋季例大祭

2019.10.12-10.13

前夜祭　神楽奉納



亀山神社秋季例大祭は10月12日から13日にかけて開催されました。

12日は、前夜祭「神楽奉納」でした。今年は何年振りかに、浅原神楽団による創作神楽「岩舟」が舞われました。「岩舟」は岩船の水を舞台にした狐の親子の悲しい物語です。物語にも惹き込まれましたが、激しい動きも多くあり、じっくり観て楽しめる舞でした。

おでんに、焼き鳥に…
美味しいものたくさん！
青年団のみなさま、
ごちそうさまでした！

浅原市民センターのお二人も大活躍！！

また、深夜まで神社の社殿で舞われる神楽は、他の地域では、今では珍しいものになっているようで、浅原以外からわざわざ観に来られている方もおられました。神楽団の人手不足など、課題はあると思いますが、浅原の伝統のある神楽をこれからも長く残していってほしいと強く思いました。

そして、お祭りには、久しぶりに帰省した方や、そのお子さんたちなどたくさんの人が参加しており、浅原に賑やかさが戻る大切な一日でもあることを改めて感じた夜でした。

秋季例大祭

子供神輿・くじ引き

御旅所（おたびしょ）

餅まき

亀山神社秋季例大祭は、二日目も天候に恵まれ、気持ちの良い一日となりました。

旧浅原小学校から子供神輿がスタートし、御旅所へ。神事・神楽奉納・巫女舞が亀山神社の社殿と、旧浅原保育園内にある御旅所で行われました。厳かに執り行われ、昔から伝わる祭りの良さをここでも感じることができました。

そして、御旅所が終わってからは、皆さまお楽しみの花倒しと餅まき。ここには本当に多くの方が参加されていました。どちらも皆さま一所懸命なので、私は今年も写真を撮ることしかできませんでしたが、いつか花倒しにも挑戦してみたいと思います。

また、今年も神輿の担ぎ手として、修道大学の学生さんにも参加していただき、お祭りを通して、新たな繋がりも生まれたようで嬉しかったです。

浅原の伝統あるお祭りをこれからも、みんなで守っていきましょう！

花倒し

上田宗箇追慕祭

10月神無月

2019.10.19

10月19日、上田宗箇追慕祭(以下、宗箇まつり)が開催されました。当日は、あいにく雨だったため、今年は浅原市民センターで行われました。今年は、浅野氏広島城入城四百年でもあったため、宗箇まつりも盛大に開催されました。

まず一つは、中国新聞特別論説委員の佐田尾信作さんによる記念講演会「上田宗箇～義と創意の桃山びと～」です。上田宗箇の歴史を写真とともに丁寧に振り返ってくださいました。

そして、もう一つが『和の共演　書道吟「岩船の水」』です。佐伯高校2年生の本郷実緒さん、本郷直緒さん、益本華歩さんによる詩吟と鳥平二郎さんによる尺八、小川妙子さんによる書の共演を披露してくださいました。

佐伯高校生の3名は詩吟の全国大会でも優勝されているほどで、高校生とは思えない堂々とした詩吟に、みなさまとても感動されているご様子でした。

そして、鳥平さんの尺八と小川さんの書も、ぴったり息があっており、さすが！としか言いようがない共演でした。

今後の宗箇まつりでもぜひ披露していただきたいです。

上田宗箇と浅原の繋がり

茶人であり、浅野藩の客分の家老でもあった上田宗箇は廿日市市浅原に、三年間隠棲していました。

浅原の地での宗箇は武人としてではなく、自然を愛で、茶の湯三昧の茶人として暮らし、村人からも「そうかさあ」と慕われ、精神的にも満ち足りた浅原生活を送ったと伝えられています。

地域のみらいづくり講演会

2019.11.30

11月30日、浅原市民センターにて「地域のみらいづくり講演会」が開催されました。当日は百名を超える参加者で、熱い一日となりました。

松本太郎新市長も最後まで参加され、廿日市市全体の、中山間地域の今後への意識の高さも感じられました。まだまだ課題も多い浅原ですが、浅原には、外から来た人でないと見つけられない魅力も、住んでいる人だからこそ見つけられる魅力も、両方あります。

そんな内と外を、地域支援員としてこれからも繋げていけるよう頑張ろうと改めて思えた一日でした。

ゲスト①
小さな拠点ネットワーク研究所
檜谷邦茂さん
「地域をチームにしていこう～問題解決への考え方と具体的事例～」

檜谷さんには地域づくりのポイントを具体的に伝えてくださったので、ポイントをまとめてみました。

【ポイント】

地域づくりに必要な力と心構え

①課題設定をする力が必要
問題や課題はよそからは分からないので住民が考える。
ただし、自分たちだけで解決しようと思わず、行政や社会福祉協議会などみんなで協力して解決していく。

②問題・課題があることは悪くない。
問題や課題に気付けるということは「理想」があり、「成長」できる可能性があるということ。

③楽しさ・好奇心・探求心・充実感
人は共感しないことはやらない

地域づくりの進め方

①土を耕す
問題意識の醸成。事実確認・

②芽を探る
みんなで話してみる・円卓会議

③手応えを探る
小さく何か始めてみる。

④チームをつくる
理想をもとに、計画づくり・組織づくり・財源づくりを行う。

チームづくりで大切な事

①役割を認識
活動をする人、活動を応援する人、助言する人など地域では人それぞれの役割を大事にする。

②情報共有
道具や情報、コミュニケーションがばらばらだとうまくチームワークが育まれない。
「キントーン」などネットもうまく活用する。

ゲスト②
大竹まちあそびプロジェクトパインコーンズ
藤井ちえさん
「空き家を活かした地元のたまり場づくり」

藤井さんには、大竹市玖波にある地元のたまり場・カフェである「98ベース（くばベース）」ができるまでのお話をしていただきました。

藤井さんが大竹で、様々なイベントを開催するようになったきっかけや、大切にしてきた点なども紹介していただきました。

特に、玖波駅近くに見つけた空き家（雨漏り・虫もいるようなひどい状態）を改装するまでのお話は興味深かったです。

例えば、この空き家の改装（リノベーション）をイベントとしてたくさんの人と行ってきたこと。業者さんに任せっきりにするのでもなく、自分たちだけで行うのでもなく、イベントとして広く参加者を呼びかけ、リノベーションを学びたい多くの人と一緒に進めていったそうです。98ベースをカフェとしてオープンする前から、多くの人に知ってもらうことができると同時に、改装を一緒に行うことで仲間も増えるという、素敵な連鎖反応が起きていったようです。

そして、「未完成見学会」を行ったこと。完成前にお披露目するというアイディアです。

未完成の状態から楽しんでもらうことで、よりその場所に愛着をもってもらうきっかけになったようです。

こういった紹介だけでなく、藤井さんからはこんな問いかけもありました。

「あなたは20歳のころ、どんなことが得意で、どんなことが好きでしたか?」

「住んでいるところの半径2キロでニヤニヤできる場所はありますか?」

皆さんもぜひ、この質問を自分自身に問いかけてみてもらえたらと思います。

登壇者全員で記念に１枚！

浅原の未来を創る会
理事長の酒井さん、事務局の長尾さん、
地域支援員の黒木で、
浅原の取り組みを紹介しました！

12月師走
1月睦月

浅原にサンタクロースがやってきました！

2019.12.24

今年も、クリスマスイブに浅原へサンタクロースがやってきました！

軽トラックの荷台の上に、お手製のツリーに見立てたイルミネーションを飾り、楽しいクリスマスソングを流しながら、浅原の家々を回りました。今年はサンタクロースの等身大の人形も一緒に回り、前回よりもさらに賑やかで楽しい夜となりました。

お昼は、一人暮らしの高齢者のみなさまのお家を訪問しました。

みなさま、昨年回った時と変わらず、お元気な様子で安心しました。そして、サンタクロースの来訪もとても喜んでくださり嬉しかったです。

また、サンタクロースにプレゼントを下さる方や、様子を見に来てくださる方もたくさんいらっしゃって、色んな所で笑顔が広がるあたたかな時間でした。

ありがとうございました！

夜はお子さんたちのお家を訪問しました。

前回はサンタクロースにびっくりして泣いてしまったお子さんも、今回は泣くことなく、サンタクロースに「ありがとう！」と声をかけ、嬉しそうな顔を見せてくれるなど、お子さんの成長を感じられる場面もありました。

今年のクリスマスにも、皆さんの元気な姿や、お子さんの成長した姿を見に、サンタクロースと訪問できたらと思います。

小田原のとんどに留学生が参加！

2020.1.19

1月19日、台湾からの留学生や、海外からの旅行者などが、日本の文化を体験しに、小田原のとんどに参加しました。とんど作りから参加し、地域の方々に竹の組み方やとんどの意味などを教えてもらいながら、真剣に取り組まれていました。

とんど作りの後は、「安井家母屋」を見学。屋根裏にも上がらせていただき、伝統的なかやぶきの建築に感動しているご様子でした。

浅原交流会館でのランチの後、電動自転車に乗って、「岩舟の水」や「亀山神社」などを巡りました。「岩舟の水」では水を実際に飲んでみる体験、そして「亀山神社」では神社の正しい参拝の仕方や神様の歴史を学びました。浅原でしかできない体験をしっかり楽しんでいる様子でした。

そして、再びとんどへ戻り、火付けの体験をしたり、とんど餅をいただいたり、地域の方々と交流しました。地域の方々も留学生たちと積極的に交流し、お別れの時は目に涙を浮かべている方もいらっしゃいました。

小田原のみなさんのおかげで、素敵な体験をしていただけました。本当にありがとうございました。

小田原のみなさま、ありがとうございました！

文化財防火デー防火訓練 安井家母屋

1月睦月 2月如月

2020.1.24

廿日市市の文化財防火デー防火訓練として、浅原では安井家母屋にて、防火訓練が行われました。

水消火器での消火体験や、消防車による放水などが行われました。

実際に体験してみることで、もしもの場合に備えることができ、浅原が誇る文化財を地域全体で守って、後世に残していきたいという気持ちを改めて持つことができたのではないかと思います。

今の時期は、暖房器具など使うことが多いので、火災には十分に気を付けて、毎日を過ごしてもらえたらと思います。

マメ知識

文化財防火デーとは？

文化財防火デーの制定は、昭和24年1月26日に、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺の金堂が炎上し、壁画が焼損したことに基づいています。この事件は国民に強い衝撃を与え、火災など災害による文化財保護の危機を深く憂慮する世論が高まり、昭和25年に文化財保護の統括的法律として文化財保護法が制定されました。

その後、昭和29年11月3日に法隆寺金堂の修理事業が竣工し、文化財保護行政も確立するとともに、文化財保護思想の一層の強化徹底を図るために普及啓発事業が行われるようになりました。その一環として、法隆寺金堂の焼損した日であること、1月と2月が1年のうちで最も火災が発生しやすい時期であることから、昭和30年に、当時の文化財保護委員会（現在の文化庁）と国家消防本部（現在の消防庁）が1月26日を「文化財防火デー」と定め、文化財を火災、震災その他の災害から守るとともに、全国的に文化財防火運動を展開し、国民一般の文化財愛護に関する意識の高揚を図っています。

浅原市民センターまつり

1日目　2020.2.8

二日間にわたって開催された『浅原市民センターまつり』はおかげさまで大盛況のうちに幕を閉じることができました。

一日目は、創作展とだいがらでのもちつきが行われました。

創作展

創作展では、保育園児や小学生の方々、浅原の色々なクラブのみなさんによる展示で会場が華やぎました。

だいがらでの餅つき

だいがらでの餅つきも、今年も盛況でした！

今年は小さな子供たちも「つき手」に挑戦していました。怪我をしないか心配でしたが、親御さんと一緒に上手に踏まれていました。私も今年は「つき手」と「返し手」に挑戦してみたのですが、なかなか難しく、ベテランのみなさまのすごさを実感しました。

お餅ができてから早速頂いたのですが、だいがらでついたお餅は機械でついたお餅より粘りも強く、とてもおいしかったです！

浅原市民センターまつり

2日目　2020.2.9

演芸発表会

二日目の演芸発表会は、子供たちの発表から始まりました。

保育園児の発表は、とても可愛らしく、観ているこちらをほっこりさせてくれるものでした。また、小学生の方の作文は「安井梨園」さんでの体験のお話で、梨園で学んだことをしっかり分かりやすく伝えてくださいました。

今回の発表を通して、浅原や佐伯地域で育つ子供たちの様子を見ることができたので、親御さんだけでなく、地域のみなさんにとっても嬉しい時間になったのではないかと思います。

浅原のクラブのみなさまによる発表は、それぞれ素晴らしく、練習を積み重ねた成果がしっかり出せたのではないかと思います。また、思わず笑ってしまうような面白い工夫のある発表もあり、とても楽しい時間を過ごせ、元気をもらうこともできました。

神楽舞「八幡（はちまん）」

ホールの後ろから鬼が出てきたり、驚くような演出が多く、楽しめました。また、大人だけでなく、小さいお子さんも舞の迫力に圧倒され、夢中で観ている様子でした。

ステージ以外の場所でも、お茶席に、陶芸体験教室、産直市と、もりだくさんで、多くの人でにぎわっていました。フードバザーも大賑わいで完売、産直市など販売物もすぐに売り切れたようです。また、お茶席では、本格的なお茶で穏やかな時間を過ごせたと好評でした。陶芸教室も子供から大人まで楽しんでいただけたようです。

マックスバリュ号、浅原へ！

お知らせ

昨年の6月13日より、浅原交流会館横の駐車場に移動販売車「マックスバリュ号」が来ています。肉や魚といった生鮮食品、お惣菜、パン、お菓子、トイレットペーパーや洗剤といった日用品など色々なものが販売されています。

「毎日の買い物に困っていたので助かる」、「アイスとか今までなかなか買えなかった物もあって嬉しい」といった声をお聞きしています。

ハングマーサンのシュークリームやおはぎ、生花などの販売もありますので、ぜひ買い物にお越しください！

毎週木曜日
午後2時30分～午後3時30分

外でも販売があります

マックスバリュ号の中の様子

FMはつかいちにて、『あさはら未来探し』が始まりました！

ＦＭはつかいちラジオ番組
「あさはら未来探し」
毎月 第一木曜日 １１時半～
（放送予定日：8月1日　9月5日　10月3日・・・）
FMはつかいち
76.1MHz

昨年の7月4日から、エフエムはつかいちにて、浅原の人やもの、出来事を紹介する番組「あさはら未来探し」の放送が始まりました。

パーソナリティーは地域支援員の黒木が担当しています。

毎月第1木曜日午前11時から12時までの放送です。再放送は、放送週の土曜日夕方4時からです。

浅原では電波が入りにくい場所もあるようですが、浅原交流会館では、エフエムはつかいちの放送を聞くことができますので、ぜひこの機会に浅原交流会館に遊びに来てくださいね！

制作
廿日市市地域支援員
（浅原地区担当）黒木真由
浅原交流会館
☎0829-78-2650
浅原市民センター
☎0829-72-0001
✉m.k.asa021@gmail.com

『浅原の未来を創る会（あさみら）』を
これからもどうぞよろしくお願いいたします。